（その 109）ベトナムダナン市への自転車寄贈活動に感動（2014.10）

８月初旬川崎区に住むＫさん（大学４年生）から、「ホームページやブログを拝見しダナン市への自転車提供について興味を抱きご連絡させていただきました。今まで自転車で外国を旅したことや、今年の 10 月にはベトナムを自転車で縦断計画があることが話され、調べていたところ川崎市の放置自転車がその近郊に提供されていること、そして提供された自転車が現地の人々の足として使われていることを知り大変感銘を受けました。事務所に訪問させていただき活動のことやダナンのことについて直接お伺いすることはできないでしょうか。」とのメールをいただきました。

所長がお会いし、これまでの活動、ダナンの現状、自転車がどのように活用されてどんなに喜ばれているかなど質問に答える形で懇談しました。

Ｋさんはとても感動され「９月６日ダナンへの自転車寄贈作業への参加と、今回寄贈する自転車がダナンにつくころダナンに行き荷下ろし作業を手伝い、その自転車を借りてハノイからホーチミンまで縦断する。各地で日ベト川崎支部の活動を紹介するなどお役にたちたい」としてベトナムでの知人友人を紹介して欲しいと要望されました。

所長は支部の仲間や関係者と相談し了解を得てダナンのチョーン議長、ホイアンの臼田玲子さん、ホーチミンのビルさんとフンさんを紹介しました。

出発前にメールやフエスブックなどで連絡を取り、情報交換して綿密な計画を立て有意義なベトナム縦断にして、帰ったら報告会を開くことを確認し 10 月２日早朝、34 日間の自転車縦断の旅に出発しました。

若者の夢と希望がかなえられこの経験が人間成長の大きな財産になるような協力が出来たことに喜びを感じた相談でした。